本田仁一市政がスタート

田村市長　本田仁一（ほんだ じんいち）
昭和37年11月12日生まれ（54歳）　田村市常葉町出身
福島県立船引高等学校卒業
平成8年2月から旧常葉町議会議員（3期）
平成17年3月から田村市議会議員（2期）
平成23年11月から福島県議会議員（2期）

希望あふれる田村市を

4月9日に執行された田村市長選挙におきまして、市民の皆様から温かく力強いご指示、ご支援をいただきまして、田村市長に就任いたし、身が引き締まる思いであります。

旧常葉町に生まれ育ち、地元を常に近くで見ていた私は、市民の声をもっと行政に届けるべきであると考え、平成8年に町議会議員に立候補し当選しました。以後、旧常葉町議会で3期、5町村合併により誕生した田村市議会で2期、福島県議会で2期、議会議員として邁進してまいりました。

今回、市長選挙に立候補いたしましたのも、議員を務めた経験や、これまで培ってきた国や県とのパイプを最大限に生かして、希望あふれる田村市を、市民の皆様と一緒に創り上げたいと決意したからです。

東日本大震災および原発事故からの復興はいまだ途上にあり、人口減少が続く中で課題は山積しています。未来を担う子どもたちが誇りを持ち、田村市が持続可能な地域となるよう、総合計画や地域創生総合戦略はもとより、私が掲げた田村市大改革の具現化に向け、各種施策にスピーディーに取り組んでまいりますので、市民の皆様と関係各位のご支援を改めてお願い申し上げ、就任にあたってのごあいさつといたします。

本田市長が推進する主な施策

働く場の確保と産業の創出
- トップセールスによる企業誘致の推進
- 木材を利用した関連産業等、新たな産業の創出
- 産業団体や生産者との協議会開催　など

健康と福祉
- 医療施設の充実
- 予防医療、受動喫煙対策の実施
- 高齢者や障がい者在宅介護への支援拡大　など

子育て・教育支援
- 保育所・幼稚園保育料、学校給食の無料化
- 給付型奨学金の創設
- 「こども未来課」の新設　など

道路・水道・防災対策
- 国道288号バイパス取付道路網の整備
- 上下水道事業の計画的推進
- 避難所機能も備え、市民も楽しめる道の駅の建設　など

生活環境の充実
- 生涯学習等複合施設の早期建設
- 市街地周辺の環境整備
- 遊休施設を活用した子どもの遊び場整備　など

誇れるまちづくり
- 観光資源・観光ルートの見直しと発掘
- 遊休農地解消、里山再生
- Uターン・Iターンと2地域居住推進　など

市民の手で地域創生
- 「地域づくり協議会」を各地域に設置し、市民の皆さんの声を市政に反映
- 農業の6次産業化と地域特産品の開発
- 空き店舗の利活用　など

役所改革
- 市長報酬削減
- 徹底した情報公開　など

本田市長 初登庁・訓辞

本田市長は4月17日、市役所に初登庁し、大勢の支援者や職員に拍手で迎えられました。

登庁後、職員に向けて「市長選挙で市民の皆様から支持を得たのは、〝田村市大改革〟ということだ。そのことを職員一人一人が肝に銘じ、今後の職務に取り組んでいただきたい。今日から、田村市および田村市民のためであることを第一に施策を進めていくので、ご理解とご協力をお願いする。」と訓辞を述べました。

受動喫煙をなくすために

5月1日から 市内のすべての公共施設の建物内を禁煙にします

市では、市民の皆さんにいつまでも健康で過ごしていただくために、健康寿命の延伸に取り組んでいます。健康診査や各種がん検診、運動サロンなど、生活習慣病予防を行っているところです。

こうした中で、田村市の喫煙率は国や県より高い傾向にあり、市は、悪性新生物や心疾患、脳血管疾患など、喫煙が健康に及ぼす影響を懸念しています。

そのため、たばこを吸わない人の健康に悪影響を及ぼす受動喫煙をなくすために、本庁舎をはじめ、公民館や体育館、社会福祉・老人福祉施設、観光施設等の建物内を全面禁煙とします。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

市職員は4月20日から、本庁舎、行政局および出張所の建物内で全面禁煙を始めました。

▲受動喫煙防止ロゴマーク